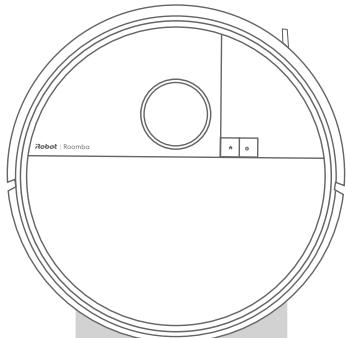


Roomba® Max 705

Vac ロボット + AutoEmpty™ 充電ステーション

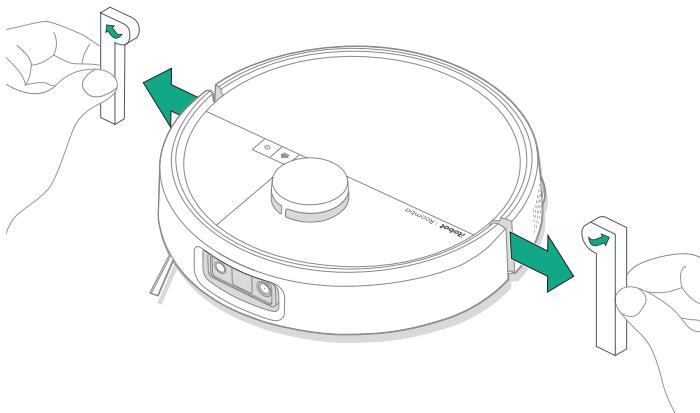
取扱説明書



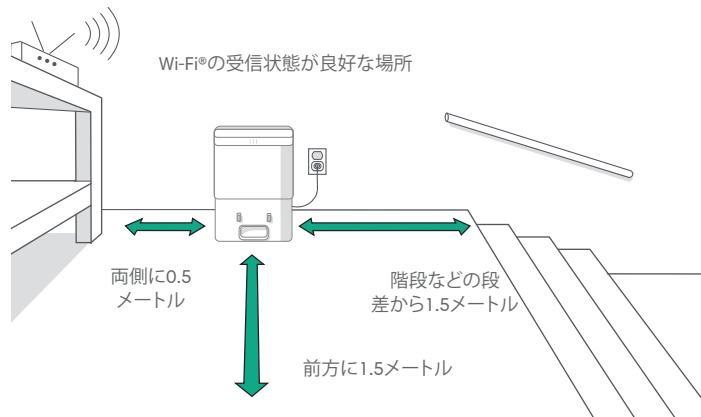
iRobot®

はじめに

1 保護フィルムやクッション材を取り外す



2 充電ステーションを硬質な床面に設置する

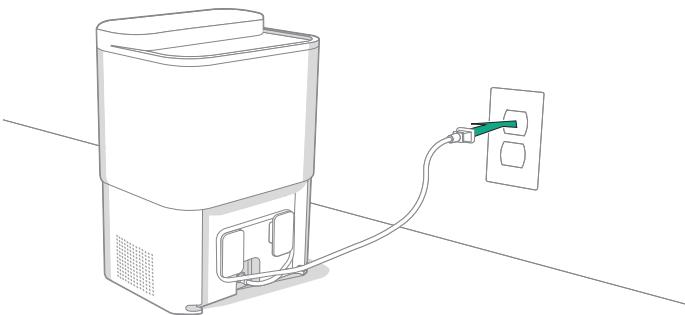


メモ: 直射日光が当たる場所には配置しないでください。ドッキングがスマーズに行われるよう、充電ステーションの周りを片付けてください。



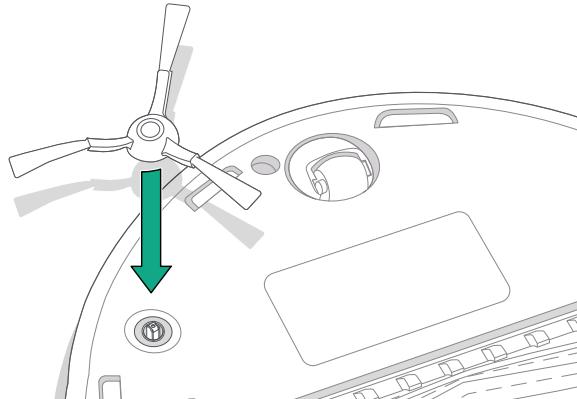
警告: ロボットが落下する危険を防ぐため、充電ステーションは階段から1.5メートル以上離れたところに設置してください。

3 充電ステーションを接続する



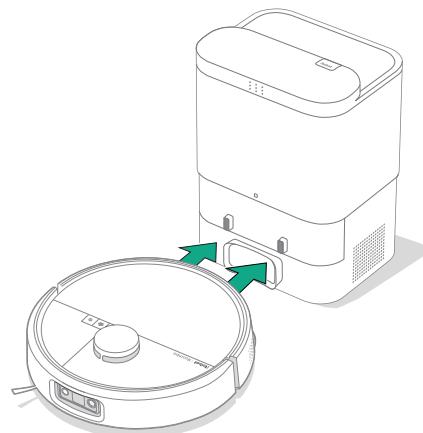
電源コードを壁のコンセントに差し込みます。ロボットの通り道をふさがないように、電源コードを背面にまとめます。

4 エッジクリーニングブラシを取り付ける



エッジクリーニングブラシの位置を合わせ、カチッという音がするまで押し込みます。

5 ロボットを起動する



ロボットを充電ステーションの前に置いてから充電ステーションに向かってスライドさせ、金属製の充電用接続部を合わせます。数分後に起動を知らせる音が鳴ります。



メモ: ロボットは出荷時にある程度充電されていますが、購入後、初めて清掃する前に約4時間充電することをお勧めします。

ロボットを充電ステーションから取り外すには、手前にスライドさせてから持ち上げます。

6 Roomba® Homeアプリをダウンロードする

モバイルデバイスのカメラでQRコードをスキャンするか、アプリストアでRoomba® Homeアプリを検索します。アプリにより、お客様のロボットを設定する手順が案内されます。アプリにお客様のロボットが設定されると、次のことが可能になります。

- ・希望の時間、場所、清掃方法の指定
- ・自動清掃スケジュールの作成
- ・清掃モード設定のカスタマイズ
- ・デジタル機能の活用
- ・便利な使い方や、よくある質問と回答の検索

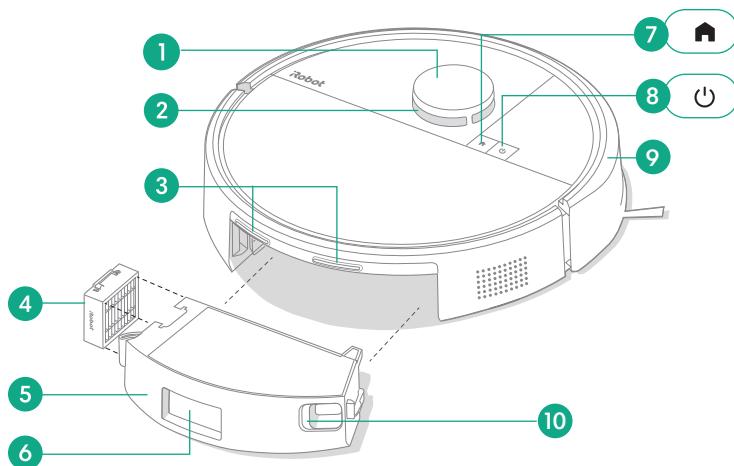


重要: ロボットをご使用になる前に、安全上のご注意をお読みください。

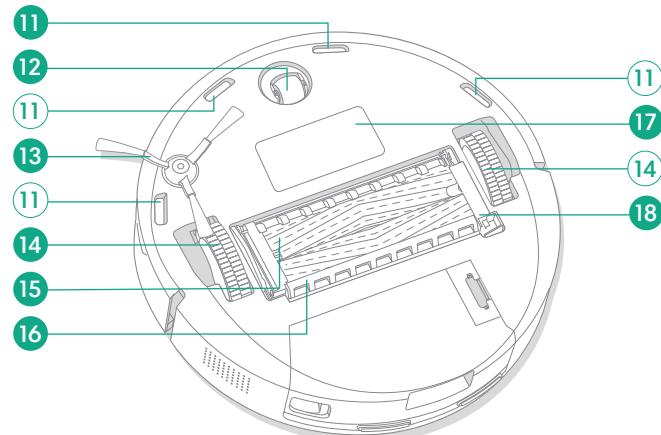
Roomba® Max 705 Vacについて

JP

天面



裏面



1 LiDAR検知バンパー

2 ClearView™ Pro LiDAR

3 充電用接続部

4 フィルター

5 ダスト容器

6 ゴミ排出ポート

7 Homeボタン

8 電源ボタン

9 バンパー

10 ダスト容器取り外しボタン

11 段差センサー

12 前輪部

13 エッジクリーニングブラシ

14 車輪

15 ゴム製のデュアルアクションブラシ

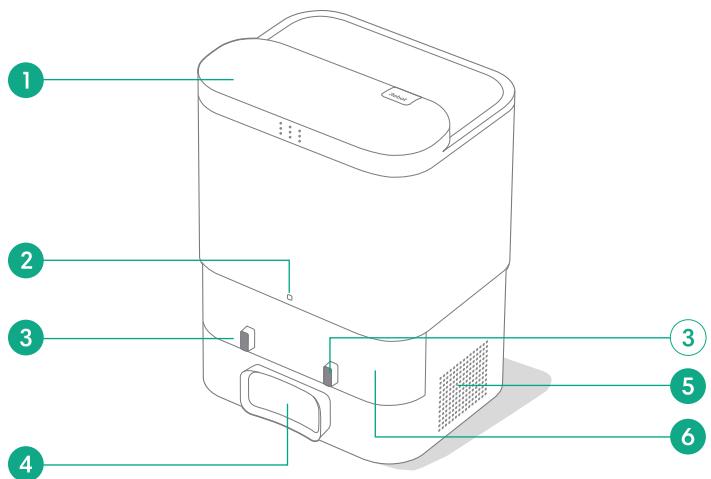
16 ブラシカバー

17 バッテリーパック

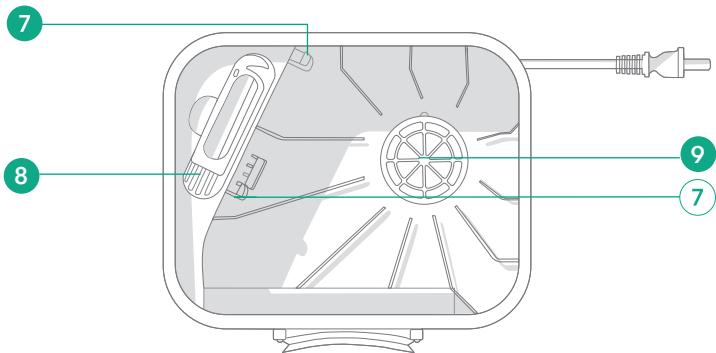
18 ブラシカバー取り外しレバー

Roomba® Max 705 VacのAutoEmpty™ 充電ステーションについて

前面

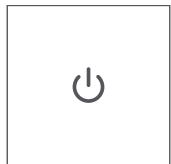


天面



充電する

電源アイコン



電源ボタン

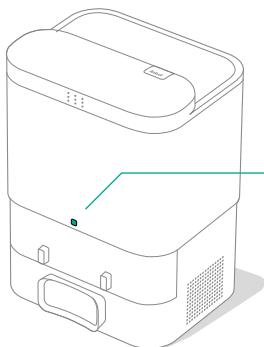
白色 - フル充電済みかつ、接続済み

白色点滅 - 充電ステーションに移動

白色点滅(ゆっくり) - 充電中(残量低下の場合) -
ユーザーが清掃を開始しようとすると、ボタンが赤色に点滅し、バッテリー残量が少ないために清掃
を開始できないことを知らせる音声が鳴ります。

赤色点滅 - バッテリー残量低下/エラー

充電ステーションのLEDランプ



白色点灯: 充電中

赤色点灯: 紙パックがいっぱいになっている、見
つかない、または正しく取り付けられていない。

清掃中の充電

ロボットは、バッテリー残量が少なくなると充電ステーションに戻ります。充電が終わると、ロボットは中断したところから清掃を再開します。

スタンバイモード

充電ステーションに置かれている間、ロボットが消費する電力はわずかです。使用しないときは $\textcolor{red}{\Delta}$ を10秒間長押して、さらに省電力状態にすることができます。低電力モードを終了するには $\textcolor{blue}{\text{U}}$ ボタンを短く押します。

ロボットの保管

長期間保管する場合は、ロボットを充電ステーションから取り外し、 $\textcolor{blue}{\text{U}}$ ボタンを10秒間長押して電源を切ります。涼しく乾燥した場所に保管してください。

清掃する

ボタン操作

JP



Homeボタン: 押すと、ロボットが充電ステーションに戻ります

清掃中に押すと一時停止します

一時停止中に押すと充電ステーションに戻ります

充電ステーションに戻る際に押すと停止します

ドッキングされているときに押すとダスト容器を空にします

電源ボタン: 清掃を開始/一時停止/再開するにはボタンを押します

3秒間押し続けると電源が入ります

10秒間押し続けると電源が切れます

清掃パターン

ロボットが無駄のない動きで部屋中を移動しながら清掃します。清掃ルーチンの終了時や、充電が必要になると充電ステーションに戻ります。



ヒント:

- 清掃を開始する前に、床の上を片付けてください。
- 床をきれいに保つため、ロボットは定期的にご使用ください。

充電ステーションから離れたまま操作なしに90分以上経過すると、ロボットは自動的に清掃を終了します。ロボットが清掃を終了したか一時停止しているのか分からぬ場合は、Roomba® Homeアプリでステータスを確認してください。

スポット清掃

○ボタンを2回押すと、特定のエリアを清掃するスポット清掃になります。スポット清掃が完了すると、ロボットは清掃を終了します。▲を押すと、充電ステーションに戻ります。

AutoEmpty™ 充電ステーション

ロボットは、AutoEmpty™ 充電ステーションに戻るたびに、またはAutoEmpty™ 充電ステーションに物理的に設置されるたびに、ダスト容器が空になるよう自動的に作動します。

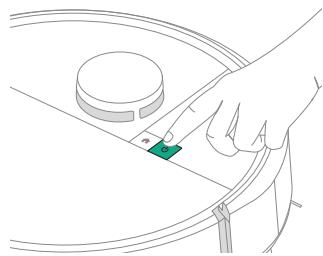


メモ: Roomba® Homeアプリを使用して清掃方法を設定することを強くお勧めします。モバイルアプリを使用して、特定の部屋の清掃、清掃ルーチンのセットアップ、自動化/スケジュールの作成を行うことができます。

掃除機がけ

JP

- 1 清掃を開始するには、ロボットを充電ステーションに戻し、アプリを使用するか、ボタンを押します。



メモ: 少なくとも週に1回は、ダスト容器を清掃することをお勧めします。お手入れをしない場合、掃除機がけの性能が低下する可能性があります。

ロボットのお手入れ

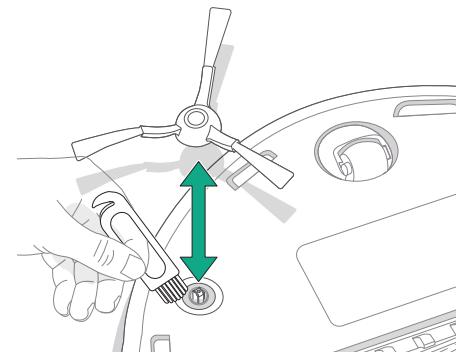
ロボットの性能を最適に保つために、基本のお手入れとメンテナンス手順を定期的に実行してください。使い方の解説動画は、Roomba® Homeアプリからご覧いただけます。ロボットの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやブラシを清掃してください。

部品	お手入れの頻度	交換時期の目安*
ダスト容器	必要に応じてダスト容器を空にする	-
フィルター	週1回(ペットがいるご家庭では週2回)を目安に清掃	2か月ごと
エッジクリーニングブラシ	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	3~6か月ごと
ゴム製のデュアルアクションブラシ	週に1回を目安に清掃する	6~12か月ごと
前輪	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	-
充電用接続部	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	-
センサー類	月に1回、または必要に応じて清掃する	-
ブラシカバー	6か月ごとに点検	すり減っているまたは損傷している場合は交換

*使用状況により、交換時期の目安は異なります。部品の損耗が目で見てわかる場合は、交換が必要です。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

エッジクリーニングブラシを清掃する

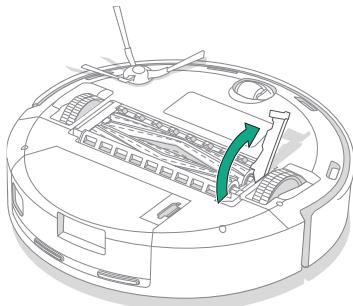
エッジクリーニングブラシを引っ張り、取り外します。髪の毛やゴミを取り除き、エッジクリーニングブラシを再度取り付けます。



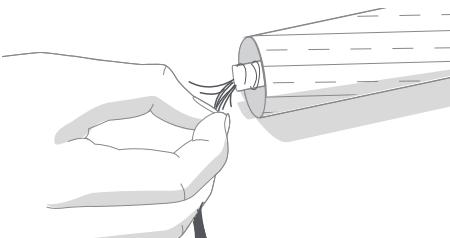
重要: 最適な清掃効果を発揮するため、3~6か月ごとにエッジクリーニングブラシを交換することをお勧めします。

ゴム製のデュアルアクションブラシを清掃する

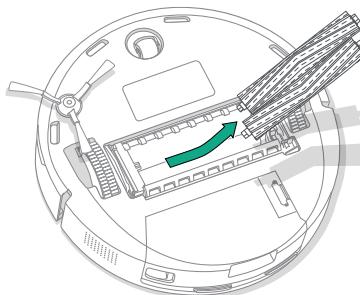
- 1 ブラシフレーム取り外しレバーをつまみ、レバーを持ち上げて、異物を取り除きます。



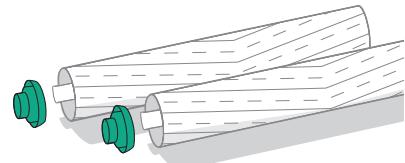
- 4 キャップの内側にたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。エンドキャップを元に戻します。



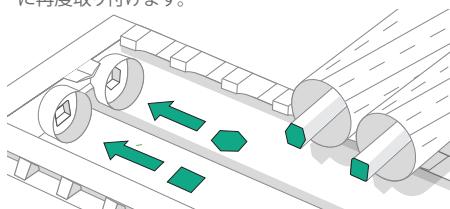
- 2 デュアルアクションブラシを取り外します。



- 3 ブラシの端にあるブラシキャップを取り外します。



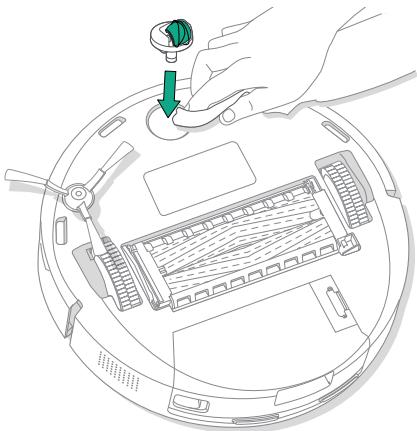
- 5 デュアルアクションブラシとブラシカバーをロボットに再度取り付けます。



重要: 最適な清掃効果を維持するために、6~12か月ごとにデュアルアクションブラシを交換することをお勧めします。

前輪部を清掃する

お手入れツールを使用して、前輪から髪の毛やゴミを取り除きます。

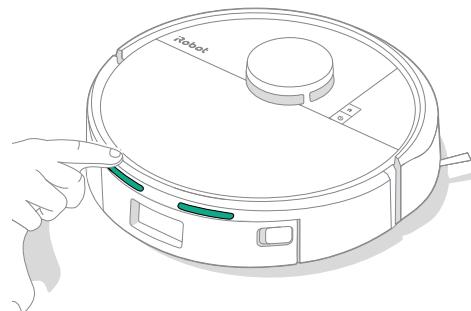


重要: 前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。お手入れしても前輪の動きが悪い場合は、サービスセンターまでお問い合わせください。

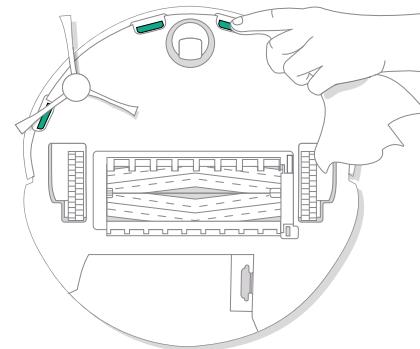
充電用接続部とセンサーを清掃する

充電用接続部やセンサーを清潔で乾いた布、または軽く湿らせたメラミンフォームで拭きます。

充電用接続部



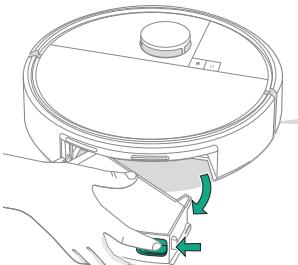
センサー



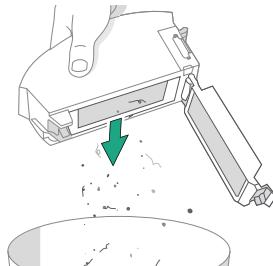
重要: センサーに洗剤などを吹き付けないでください。

ダスト容器を空にする

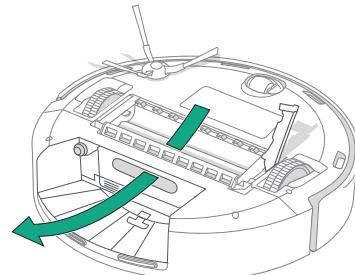
- 1 ダスト容器取り外しボタンを押し、ダスト容器を外します。



- 2 フタを開けて、ダスト容器を空にし、お手入れツールで清掃します。

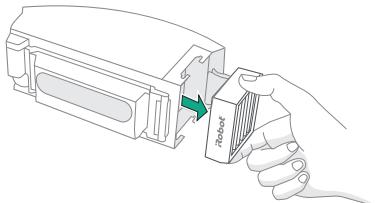


- 3 吸引口にたまっているゴミを取り除きます。ダスト容器をロボットに取り付けます。

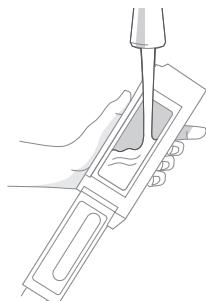


ダスト容器を洗浄する

- 1 ダスト容器からフィルターを取り外し、ダスト容器のフタを開きます。



- 2 ダスト容器と水タンクをぬるま湯で洗います。



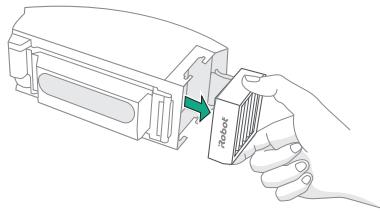
- 3 ダスト容器が完全に乾いていることを確認してください。フィルターをダスト容器に戻し、ダスト容器をロボットに取り付けます。



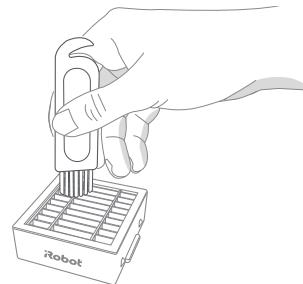
重要: ダスト容器は食洗機では洗浄できません。フィルターは洗わないでください。ダスト容器を洗浄する前にフィルターを取り外してください。

フィルターを清掃する

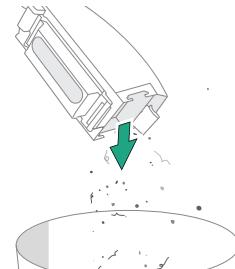
- 1 ダスト容器を取り外します。ダスト容器のフタを開き、
フィルターを取り外します。



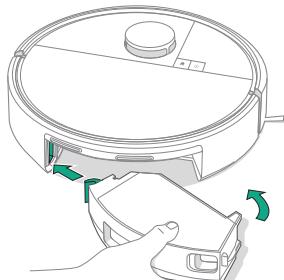
- 2 お手入れツールでゴミを取り除きます。



- 3 ダスト容器を空にして清潔な布で拭きます。



- 4 フィルターを再度取り付けます。ダスト容器をロボットに取り付けます。



充電ステーションのお手入れ

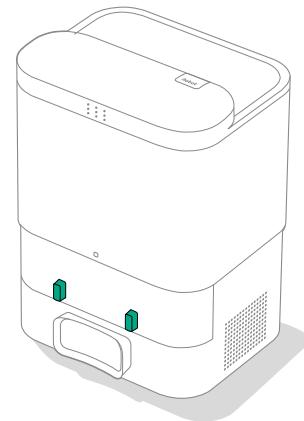
充電ステーションの性能を適切に発揮させるには、以下のページの手順を実行してください。

部品	お手入れの頻度	交換時期の目安*
充電用接続部	1か月に1回	-
センサー類	月に1回を目安に清掃	-
IRウィンドウ	月に1回を目安に清掃	-
紙パック	-	充電ステーションのLEDランプやRoomba® Homeアプリから紙パックがいっぱいになっているというお知らせを受け取ったら、紙パックを交換する
充電ステーションフィルター	1か月に1回(充電ステーションフィルターからゴミを取り除いてください)	

* 使用状況により、交換時期の目安は異なります。部品の損耗が目で見てわかる場合は、交換が必要です。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

充電用接続部とIRウィンドウを清掃する

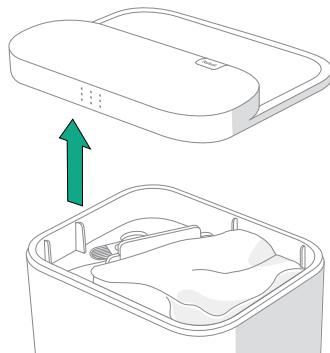
部品を点検して、異物やゴミが混入していないことを確認します。乾いた清潔な布で拭きます。



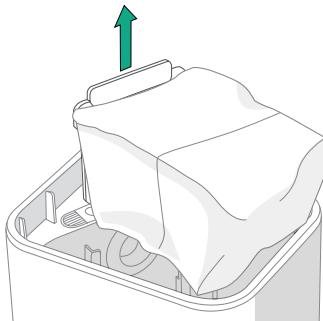
重要: センサーに洗剤などを吹き付けないでください。

紙パックを交換する

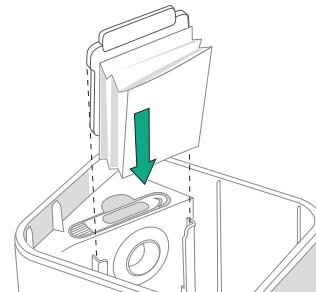
- 1 容器の蓋を持ち上げてダスト容器を開きます。



- 2 カードを引き上げ、容器から紙パックを取り出します。



- 3 ガイドレールに沿ってカードを挿入して新しい紙パックを取り付けます。これにより、ホコリやゴミが漏れ出さないように、紙パックが密封されます。



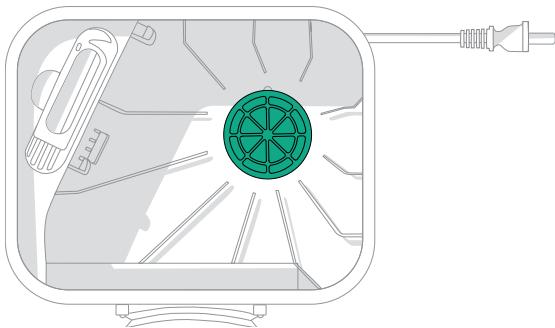
- 4 容器の蓋を戻して、完全に閉まっていることを確認します。



重要: ロボットおよび充電ステーションの性能を最適に保つため、必要に応じてフィルターの清掃や交換を行ってください。

充電ステーションフィルターからゴミを取り除く

プロワーカバーに糸くずやゴミが絡みついていないかを点検し、乾いた清潔な布で拭いて付着物を取り除きます。



困ったときは

ロボットのトラブルシューティング

問題が発生した場合は、音声通知または音声アラートでロボットが警告します。また Roomba® Homeアプリでも、問題を解決するための手順が通知されます。

ロボットが清掃を終了したか一時停止しているのか分からず場合は、Roomba® Homeアプリでステータスを確認してください。

工場出荷時の状態に初期化

工場出荷時の状態に初期化するには、を5秒間押してから(5秒以内に)とを5秒間押します。

バッテリーの安全基準と輸送



警告: リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品を、修理、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- 輸送時にはバッテリーの電源をオフにします。
- バッテリーをオフにするには、充電ステーションからロボットを取り外し、ボタンを押したままバンパーを10秒間押します。その後、すべてのアイコンが消灯します。
- ロボットを梱包して、輸送します。

さらにサポートが必要な場合は、Roomba® Homeアプリにアクセスするか、アイロボットサービスセンターにお問い合わせいただくか、global.irobot.comをご覧ください。

充電ステーションのトラブルシューティング

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、充電ステーションは容器正面のLEDランプや Roomba® Homeアプリでお知らせします。充電ステーションが期待どおりに動作しない場合は、Roomba® Homeアプリでエラーがないか確認します。

LEDランプ	一般的なエラー	解消方法
赤色点灯	紙パックがいっぱい、または紙パックがありません	紙パックがいっぱい、または取り付けられていない場合は、新しい紙パックを取り付けます。 紙パックがしっかりと取り付けられているかを確認します。 問題が解決されない場合は、ロボット裏面の吸引口や充電ステーションからゴミを取り除きます。

本製品は、過熱による損傷を防ぐための過熱防止機能を備えています。過熱防止機能が作動すると、モーターが停止します。その場合は、電源プラグを引き抜き、30分熱を冷まし、排気経路や排気管から異物を取り除いてから、電源プラグを差し込んでください。



さらにサポートが必要ですか? iRobotにおまかせください。

Roomba® Homeアプリをダウンロード、またはglobal.irobot.comにアクセスして製品サポートを受けるか、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンター(0120-046-669(通話無料))にお電話ください。

アイロボットサービスセンターの営業時間

9:30～17:30(月～日曜日及び祝祭日)

0120-046-669(通話無料)

安全上のご注意

ロボットに付属の安全ガイドを参照するか、global.irobot.comにアクセスしてください



WC# 4857405 vA



©2025 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA. All rights reserved. iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、Roomba Combo、ルンバコンボはiRobot Corporationの商標または登録商標です。AutoEmptyおよびAutoWashは、iRobot Corporationの商標または登録商標です。Wi-FiおよびWi-FiロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。AppleとApp Storeは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。